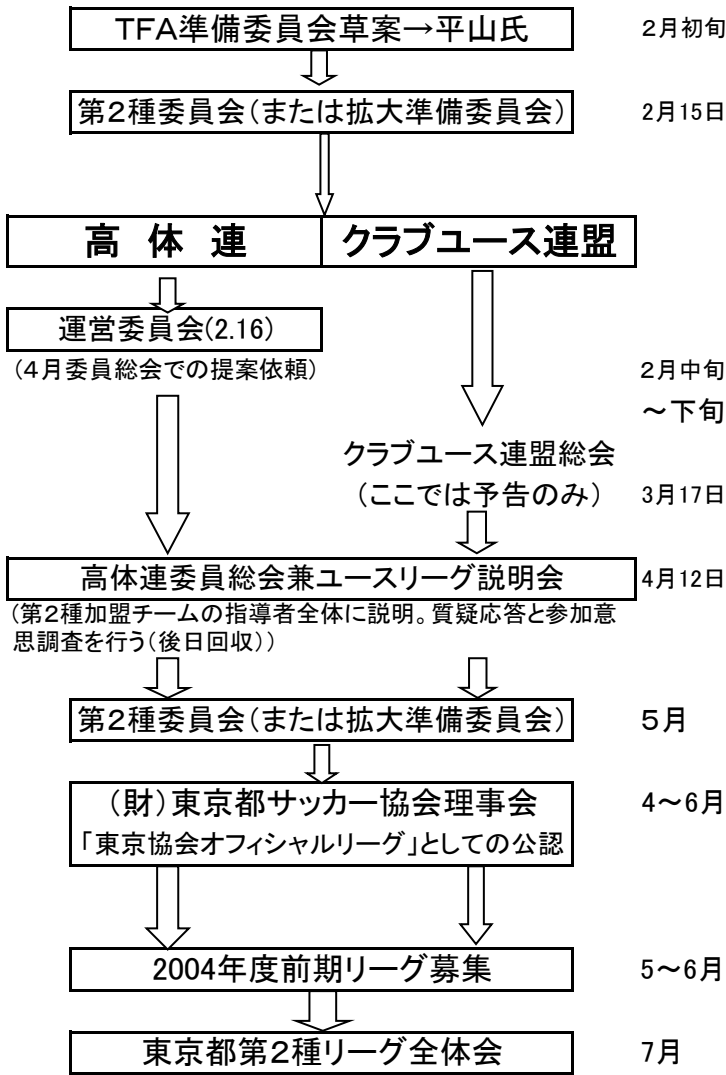
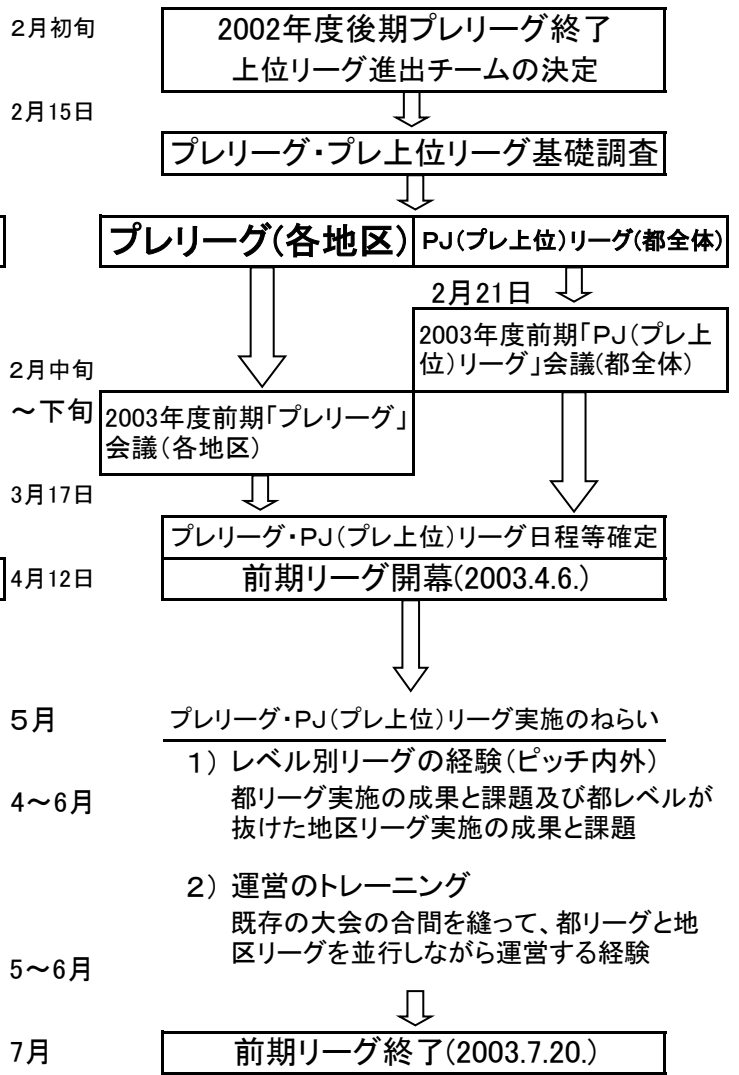


# 東京都ユースサッカーリーグ“準備過程”(2003年度)ver.3

## 合意形成・意思決定の手順



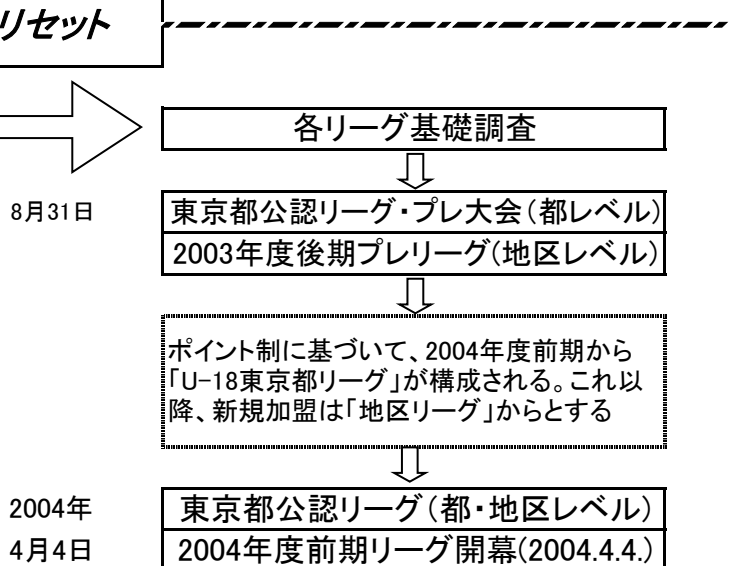
## リーグ運営・実践



## リセット

近年のポイントをもとにランク付け。上位24チームは2004年度「U-18東京都リーグ1部・2部」に、次の32チームは「3部リーグ」への参加権を有する

リーグ運営しながら並行して「地区割り問題」や、「加盟クラブ」「参加チーム」「登録選手」の条件、「移籍規定」などについて検討を進める。



# 東京都 ユースサッカーリーグ 草案(第3案)

## (財)東京都サッカー協会 ユースリーグ準備委員会報告

平成15(2003)年2月10日(原案)  
平成15(2003)年2月18日 一部改定(第2案)  
平成15(2003)年3月18日 一部改定(第3案)

(財)東京都サッカー協会 ユースリーグ準備委員会

委員長 中塚義実 (筑波大学附属高校)  
委員 北原由 (都立多摩工業高校)  
蔵森紀昭 (成城学園高校)  
進藤正幸 (東京工業大学附属高校)  
遠藤宏一 (足立学園高校)  
大倉健史 (都立町田高校)  
福井和哉 (F. C. VIDA)  
折井良夫 (IPDジュニアユースFC)

### 目次

p1~2...	はじめに
p3	…東京都ユースサッカーリーグの“理念”(案)
p4~6...	…東京都ユースサッカーリーグの“全体構造”(案)
p7~8...	…東京都ユースサッカーリーグ“規約”(案)
p9	…東京都ユースサッカーリーグ“準備過程”(2003年度)(案)

# 東京都ユースサッカーリーグの“理念”(案)

草の根から全国へ サッカーからあらゆるスポーツへ  
サッカーを通して健全なスポーツ観を身につけ、  
ゆたかなスポーツ環境を構築する

## 1. 「歯磨き感覚」「引退なし」のスポーツライフ—サッカーの生活化

日常生活にサッカーが無理なく位置づけられる  
運動・栄養・休養のバランス → 歯磨き感覚のスポーツライフ  
学習活動等との「両立」  
シーズンが明確になる  
シーズンオフをつくる → シーズンを意識した計画づくり  
複数のスポーツへの取り組みが可能 → スポーツのシーズン制  
3年間の高校生活にサッカーが無理なく位置づけられる  
アマチュアに引退なし

## 2. 「補欠ゼロ」のゆたかなクラブ育成—チームからクラブへ

誰もがゲームに参加できる  
「補欠ゼロ」のサッカー環境  
複数のチームによって構成されるゆたかな“クラブ”の育成  
練習への動機づけとなる  
M-T-Mの活動サイクルの樹立  
合理的・科学的トレーニング  
「リーグ戦」が経験できる  
負けても次がある → 積極的なスポーツ観を育む

## 3. 強いチームとたくましい個の育成

同程度の相手と切磋琢磨できる  
レベルアップ  
タレントの発掘と育成  
勝つか負けるかわからない「ハラハラ」を楽しむ  
レベルやニーズに合わせた活動ができる  
昇格・降格による動機付け → 強い“チーム”の育成  
能力に応じた活動の場の提供 → 自立したたくましい“個”の育成

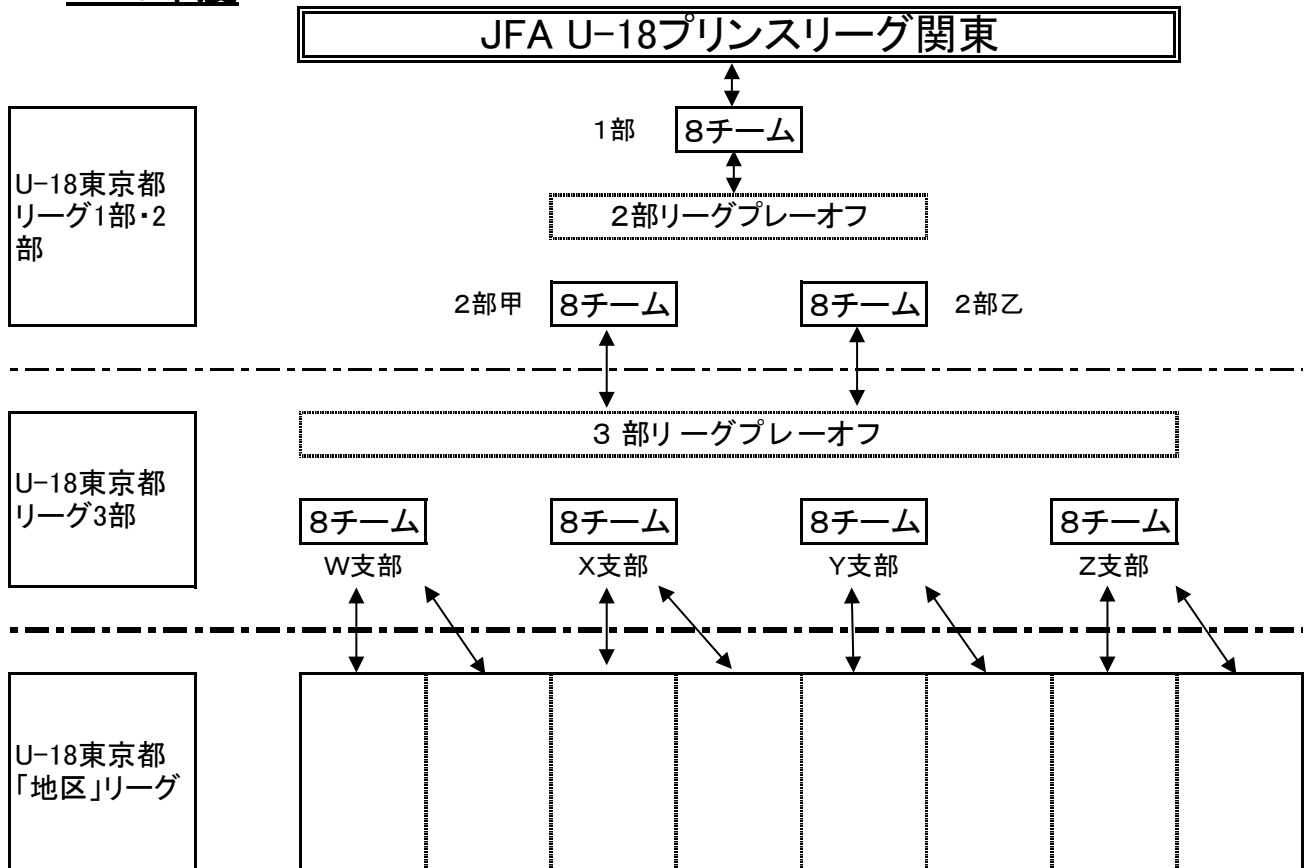
## 4. サッカーをささえる人材の育成—自主運営と受益者負担

「スポーツの主人公」を育てる  
ただサービスを待つのではなく、自分でできることはする  
受益者負担の原則  
ピッチを取り巻く多様な人材を育てる  
審判員の育成と地位向上  
現場スタッフ、ボランティア、サポーター等の多様な人材の発掘と育成

年間通したリーグ戦の中で、  
“たくましい個”と“強いチーム”と“ゆたかなクラブ”を育て、  
東京を、日本一のユースサッカー王国に！  
世界に誇れるスポーツ都市に！

# 東京都ユースサッカーリーグの“全体構造” ver.3

**2005年度**



2005年度中に上記のような完成型を目指す

2006年度のプリンスリーグ昇格チームは、高体連・クラブユースとも、U-18東京都リーグ1部の上位チームが対象となる。

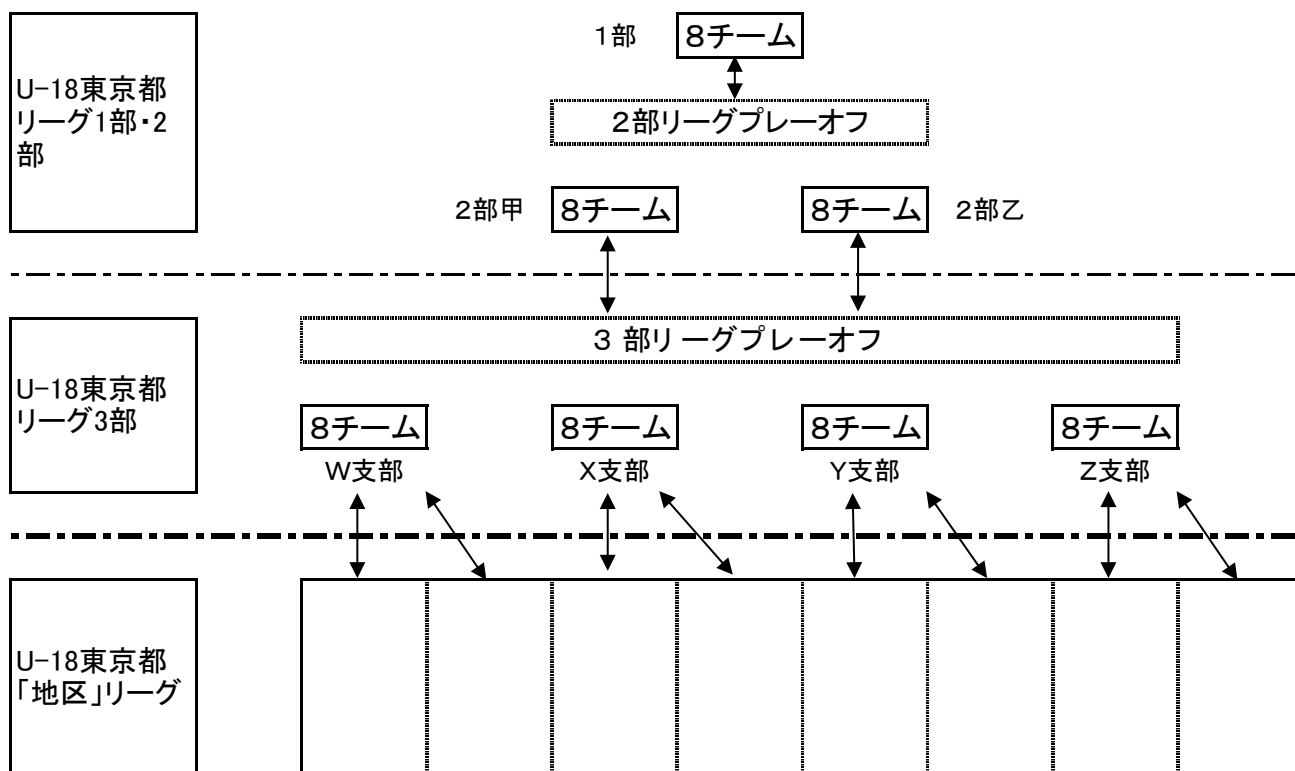
4～7月に前期リーグ、9～12月に後期リーグを行う

1～3部リーグは、年間の成績によって昇降格する

「地区」リーグ内の昇降格は各地区で定めるが、3部リーグとの昇降格は年1回とする

「地区」リーグの区分け、及び各リーグごとの規約については別途定める

**2004年度**



近年のポイントでチームの「競技力」を評価し、これに「運営能力」を加味して参加申請・承認されたチームを対象に、2004年度に「U-18東京都リーグ1～3部」と「U-18地区リーグ」を立ち上げる。

2005年度のプリンスリーグ昇格チームは、高体連側はU-18東京都リーグ1部の上位チームが対象となる。クラブユース連盟は従来どおりの方法で昇格チームを決定する。

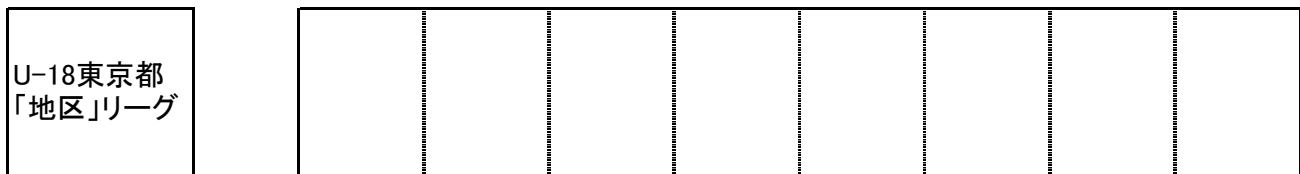
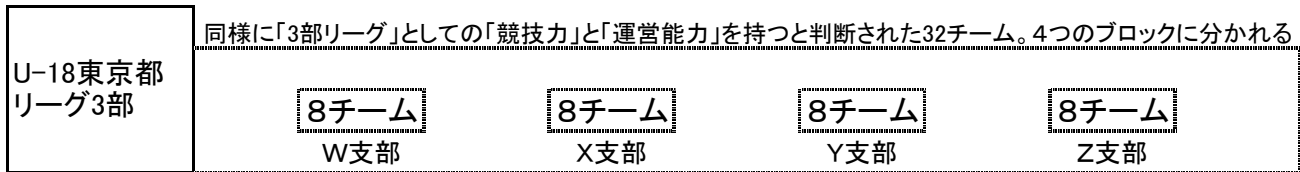
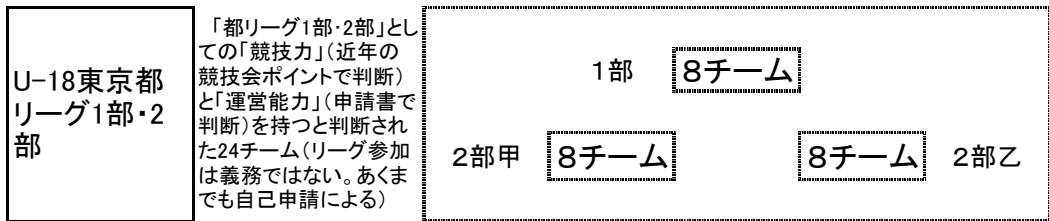
4～7月に前期リーグ、9～12月に後期リーグを行う

1～3部リーグは、年間の成績によって昇降格する

「地区」リーグ内の昇降格は各地区で定めるが、3部リーグとの昇降格は年1回とする

「地区」リーグの区分け、及び各リーグごとの規約については別途定める

**2003年度後期**



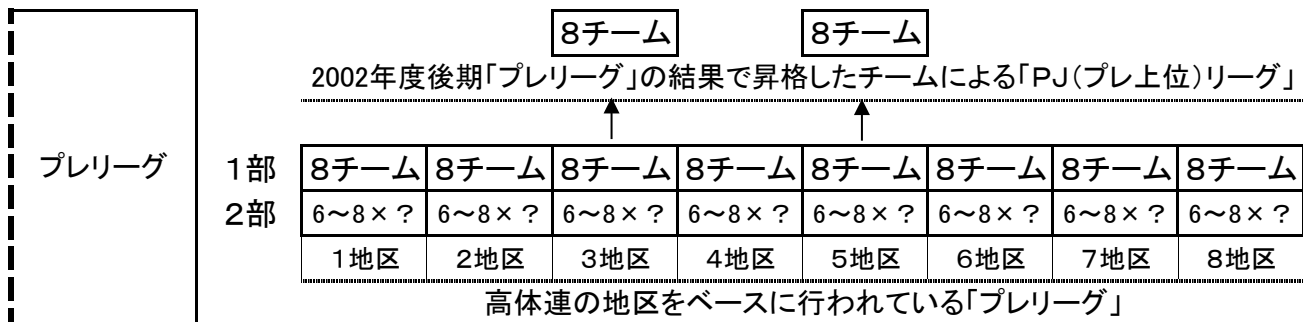
2004年度前期「U-18東京都リーグ1～3部」の構成チーム(ポイント制により上位にランク付けされたチームのうち、リーグ参加を申請し、承認されたチーム)が、2003年7月中に確定する。9～12月の後期リーグ期間は、“運営のトレーニング”を兼ねて「U-18東京都リーグ1～3部」の「プレ大会」を行う。ただし、同時期に各連盟の公式戦が入ってくるため日程の調整が困難と思われる。そこで「プレ大会」は「できる範囲で」実施し、課題を抽出・修正しながら運営能力を高めることを目的とする。

「U-18地区リーグ」も並行して行う。ここでも日程の調整が困難と思われるので「できる範囲で」実施し、課題を抽出・修正しながら運営能力を高めることを目的とする。

2003年度後期リーグ(プレリーグ)の結果による、地区-3部-2部-1部リーグ間の昇降格はない。あくまでもこの時期のリーグのねらいは、参加チームの運営能力を高めることであり、リーグ基盤の整備である。

「ポイント制」はあくまでもリーグ創設期のみ行う便宜的な方法である。2003年7月の“リセット”以降、新規加盟団体は地区リーグの底辺からのスタートとなる。

## 2003年度前期



1)レベル別リーグの経験、2)運営のトレーニングを目的として、「プレリーグ」(地区レベル)と「PJ(プレ上位)リーグ」(都レベル)を、既存の大会と並行して実施する。

結果は「ポイント」には反映されない。

# 東京都ユースサッカーリーグ“規約” ver.3

1. 名称	U-18東京都リーグ1部・2部	U-18東京都リーグ3部	U-18東京都〇〇地区リーグ
2. 主催	(財)東京都サッカー協会		
3. 主管	U-18東京都リーグ実行委員会 (2005年度中にNPO法人化)	U-18東京都〇〇地区リーグ実行委員会 (リーグによっては法人格を持つところもある)	
4. 後援	(東京都高等学校体育連盟)、東京都クラブユース連盟、他		
5. 協賛	未定		
6. 期間	前期-4~7月、後期-9~12月		
7. 会場	原則として、参加チームが確保する		

## 8. 参加資格

### 1) 加盟クラブ ← 本年度適用せず

東京都に本拠地を置き、(財)日本サッカー協会に加盟または準加盟している団体  
年度当初にクラブ単位で「東京都ユースリーグ」に加盟する

### 2) 参加チーム

本年度適用せず

加盟クラブは、以下の条件を満たすチームを編成し、リーグ戦に参加することができる

東京都に本拠地を置き、(財)日本サッカー協会に加盟または準加盟している団体  
リーグ開幕2週間前(?)までに、「リーグ戦参加チームの条件」を明記した「チーム登録票」をリーグ事務局に送付する。  
原則としてリーグ期間中は、登録内容の変更は認めない(リーグ終了後、チームを編成し直すことができる)

### 3) 参加プレイヤー

(財)日本サッカー協会に選手登録している者(以下、選手と呼ぶ)

選手はリーグに登録されたチームからのみ出場できる

異なるクラブ間の移籍は、JFA基本規定「第5章 移籍」を適用する

同一クラブ内の移籍は、別に「移籍規定」を定める

### 4) 出場選手

試合開始30分前までに、メンバー表を本部と相手チームに提出する

各試合のエントリー選手は最大20名とする

エントリー選手数は各リーグで定める

各試合につき9名までの交代を認める

選手交代については各リーグで定める

#### 参考:リーグ戦参加チームの条件

#### ① 選手

JFAに第2種登録された選手が15名以上いる

未登録選手は出場することができない

未登録選手の扱いは各リーグで定める

特別枠選手は認めない

特別枠選手は各リーグで定める

#### ② 指導者

責任能力のある大人(20才以上)が帯同できる

有資格者であること

有資格者であること

資格は問わない

#### ③ 審判

定められた試合に審判員(主審1名、副審2名)を派遣できる。主審は有資格者

主審は東京協会から派遣

主審は東京協会から派遣

主審は4級以上

副審は東京協会から派遣

副審は4級以上

副審は審判を志す者以上

#### ④ グラウンド

定められた試合(ホームゲームまたは1節分)を主催できる

#### ⑤ 参加費

定められた参加費を支払う

#### 参考:用語の整理

	用語	期間	費用	分類	
クラブ	加盟	年度	加盟費(分担金)	管理費	→メンバーシップ
チーム	登録	リーグ期間	参加費	事業費	
プレイヤー	入会	年度	会費	管理費	→メンバーシップ
	登録	リーグ期間	—	—	
	エントリー	試合ごと	—	—	
	U-18東京都リーグ1部・2部		U-18東京都リーグ3部		U-18東京都〇〇地区リーグ

## 9. リーグ構成

### 1) チーム数及び条件

1部8チーム、2部8チーム×2ブロック	8チーム×4ブロック	各リーグごとに定める
同一クラブから複数チームの参加はできない。	同一クラブから複数チームの参加はできない。	

### 2) 昇格・降格

年間を通した「競技力(順位)」と「運営能力」に基づいて昇降格する		各リーグごとに定める。ただし、3部リーグへの昇格は年1回(後期リーグ終了後)とする
同一クラブから複数チームの参加はできない。	同一クラブから複数チームの参加はできない(2部から降格の場合、3部に属する同一クラブのチームは地区リーグに降格する)。	各リーグごとに定める。
昇降格の基準は別に定める		

### 3) 新規加盟

新規加盟クラブの保有するチームは、地区リーグの最下部からスタートする
------------------------------------

### 4) リーグ初年度(2004年度)の特例

リーグ初年度(2004年度)のみ、各レベル別リーグの参加チームを以下の要領で決定する
① 都リーグ1部・2部における高体連、クラブユース連盟のチーム数を決定する(2003年4月中)
② 各連盟ごとに、近年の公式競技会成績をポイント換算して「競技力」を査定。加盟チームの順位付けとリーグの割り振りをする(2003年4月中)。
③ 加盟チームは、各リーグが示す「参加条件」を鑑みて、リーグ参加の意思があれば「参加申請書(チーム登録票)」を提出する(「運営能力」を判断するための調査書でもある)(2003年5～6月)
④ 「参加申請書(チーム登録票)」に記載された内容を実行委員会で判断し、承認されたチームで各リーグを組織する(2003年6～7月)

## 10. 競技方法

### 1) 大会形式

2回戦総当たりで行う。2部リーグは全日程終了後、原則としてプレーオフで順位を決する。	2回戦総当たりで行い、全日程終了後、原則としてプレーオフで順位を決する	各リーグごとに定める
--	-------------------------------------	------------

### 2) 競技規則

試合は、国際サッカー連盟(FIFA)及び協会の競技規則に従って実施される ただし、各リーグごとのローカルルールは、実行委員会の承認のもとで認められる
---

### 3) 競技細則

競技方法に関する細則は各リーグごとに別に定める
-------------------------

## 11. 競技運営

### 1) 運営組織

東京都ユースリーグ全体の運営組織として、2005年度中に「NPO法人東京都ユースサッカーリーグ」を設立する。この法人は加盟クラブの連合組織である。	
上記法人及び参加チームがリーグ運営の実務を行う	参加チームがリーグ運営の実務を行う(確固たる組織を確立するリーグもある)

### 2) 運営細則

競技運営に関する細則は別に定める
------------------